

# TENDAI +Links No.3

生涯教育専攻 子育て応援プロジェクト通信

マジックあそび！  
奇想天外、

Project for  
Community-based  
Childcare Support

もくじ

タイトル

篠田 厚志 1

**SCENE.4** 第2回パパスクール  
マジックあそび教室

驚きと気づきのパパ交流会

上田 新平 2

笑顔と歓声があふれる空間

三鬼 司 5

**SCENE.5** 学生による中間報告会

中間報告会の振り返り

貴村 陽香 13

編集後期

(巻頭言) 子育てをおもしろがる

NPO法人ファザーリング・ジャパン関西

理事長 篠田 厚志

NPO法人ファザーリング・ジャパン関西（FJK）は、みんなが子育てをおもしろがる世の中をつくるために、お父さんたちの子育てを応援し、お父さんたちが子育てを楽しんで関わりたくなるお手伝いをしています。

私は、子育ての当事者として日々、今の世の中は子どもや子育てへの寛容さがとても少ないなあと感じています。

子育てが少なくなりがちなお父さんたちにたくさんかわってもらうため、楽しみながら子育てするコツを伝えるプログラムとして、今回おこなっているパスクールのほか、父子留学という父と子の特別な共有体験プログラムなどをおこなっています。

お父さんたちの子育てイベントはニーズがさまざまなのですが、突き詰めると求めていることは案外シンプルです。そのひとつが子どもから愛されるかわり方です。



手品か？超能力か？第2回パスクールは「マジックあそび」です。親子であそぶマジックをマスターします！

子どもは

「繰り返し満たしてくれる人」が好き

赤ちゃん、子どもの「おかあさんがいい！」はお父さんが嫌いだからじゃないんです。子どもは、次の3つをもれなく与えてくれる人が大好きです。

①「お腹すいた」「うんちおしっこが気持ち悪い」という不快を取り除き「快」を与えてくれる人

②「もう一回！もう一回！」と子どもがイメージできることを繰り返して「安心」を与えてくれる人

③「あれなに？」「これなに？」と子ども達にとってこれまでにない新しい「刺激」を与えてくれる人

子ども達が「お母さんのことが大好き」というのは、お父さんよりお母さんのほうが特に「快」や「安心」をたくさん与えているからです。それなのに、お母さんと違う役割として、様々な「刺激」を与えることばかりに注力しても逆効果です。

子どもが気持ちよくなること、期待することを繰り返ししてあげて、そして子ども達の新しい刺激を満たしてあげる。そういうお父さんが、子どもから愛される人になります。

こうした理論的なことを、実践の中に組み込んで、楽しみながらお父さんの納

# SCENE 4

## 第2回

### パパスクール



得感をたかめることを、プログラムではなにより大事にしています。

**パパスクール**と**天理は、**

**ひと味違う**

FJKではこのようなプログラムを多くの自治体で委託事業として実施しています。「パパスクール」は「天理」も同様なのですが、ほかと大きく違う点があります。それが「パパマイスター」という仕組みです。

天理市のパパスクールに積極的に参加し、家事育児に前向きなお父さんを「パパマイスター」として認定し、「パパマイスター」になったお父さんたちには天理大学でパパティーチャーという講義に参加してもらいます。さらに、今年度からは天理大学の学生がインターンシップとしてパパスクールに「天理」に参加しています。お父さんにとっては子育て経験が大学生の役に立つあらたなバリエーションとなりますし、大学生にとっては日常では得ることのできない貴重な話を聞くことができます。

このように、子育ての時間が少

6月16日曜日、第2回目となる父子体験教室「パパスクール」が開講されました。テーマは、親子で遊べる「マジックあそび」です。この日の講師は、「マジックパパ」ことNPO法人ファザーリングジャパン関西の副理事長の和田憲明さん。さて、一体どんなマジックが飛び出すのか、和田さんの一挙手一投足から目が離せません！マジックを「タネ」ごと教えてもらい、父子でチャレンジします。マジック成功で会場は歓声に包まれました！



## マジックあそび 教室

ないお父さんと、子育てからもしっかりと遠い大学生という両者がつながる機会はほかではみられない取組みで、このような機会があることが、天理市での子育てが魅力的な大きな魅力になると信じています。

驚きと気づきのパパ交流会

上田 新平

六月十六日にさっそく第2回を迎えたパパスクールですが、参加者の方々も増しに増し、とっても楽しい教室になりました。写真をご覧いただければ伝わるでしょうか、第1回から参加されている方たちも、今回が初めての親子さんたちも、ともに楽しんでいただけたのではないかと思います。

今回のテーマである父子の「マジックあそび」教室では、NPO法人ファザーリングジャパン関西の「マジックパパ」、和田憲明さんに講師としてお越しいただきました。

絵本の読み聞かせから始ま



り、いよいよマジックあそびです。和田さんは、親子で楽しむ、誰にでもできるマジックを、実演しながら、その「タネ」とレクチャーしてくださいました。なるほど、その中には楽しく子どもとコミュニケーションをとるヒントがたくさん隠れていました。横で見ていた私でさえ、自分のパペレベルが上がった気がしました！（まだ子どもはいない身ではありますが…）

さて、休憩時間をはさんで後半のプログラム。第1回目に参加した貴村さんと福井くんは、子どもたちの遊びにかかわり、その様子に注目していました。今回は事前のゼミでも役割分担を打ち合わせ、私は前回聞けなかったというパパ交流会の輪に加わりました。FJKの佐伯さんのファシリテーターの進行もあり、各家庭での子育ての様子や子育てに対する考え方をどんどん聞いていきました！

総じて感じたことなのですが、どのパパさんもとてもしっかりと関する意識が高いということに驚きました。特に、第2回から参加していただいたパパさ

んたちは、自分からパパスクルに申し込まれたということでお話される言葉の端々から「パパチカラ」がにじみ出ていました。他にも子どもと一緒に料理づくりを楽しんだり、普段から子どもと接することを大切にしていたり、これが「イクメンパパ」なんだと学ぶことができました。

しかし、そんなパパさんたちでも、子育ての中で迷ってしまふことが多いというお話にもなりました。困ったり迷ったりという話題では、互いのご家庭の教育方針を興味深そうに聞きあっているパパさんたちの姿がとても印象的でした。

こんな風にパパさん同士で情報共有したり、意見交換したりできるところがこの事業の最も大きな魅力だと感じました。天理という地域で子育てしている

パパさんたち。各家庭の教育方針は似ているようでいて、同じことは意外とないそうです。近所のパパさんもお互いに誘い合ってこのパパスクルに参加するようにならば、子育ての悩みやコツを話し合ったりできれば、天理のパパチカラがもっとレベルアップしていくだろうと思います。

今回のパパス交流会の最後には、新しい試みとして「パパテスト」というものを行いました。これは、子どもがどれくらいパパのことを理解できているかテストというテストです。パパのプロフィールなどを記述形式でテストします。ただし、今回はこのテストをお子さんたちに受けてもらうのではなく、パパさんたちが自分たちの父親（お父さん）から見るとおじいちゃん（お祖父さん）のことをどれほど理解でき

ているかという形で受けてもらいました。意外と分からないことが多く、私自身もテストの設問を見たとき「あれ、わからないかも…」と愕然としました。もしかしたら、こういうところにパパチカラの差が如実に表れるのかも…。とても面白い試みだと思いました。

第2回も学ぶことがとても多い、楽しく充実したパパスクルになりました。パパさん同士で交流されたことが、実際にご家庭での子育てに何らかの形で反映されていたらとても嬉しいです。今後もパパスクルを楽しみ、元気にサポートしていきたいと思えます！

### 笑顔と歓声があふれる空間

三鬼 司

## こんな風にパパさん同士で情報共有したり、意見交換したりできるところが、最大の魅力だと感じました。

六月十六日、天理市保健センターで第2回目となる父子体験教室「パパスクル」が開講され、参加させていただきまし

た。今回は、六組十四名の方々に



参加していただきました。プログラム開始時、初めてお子さんやパパさんたちに会った時、私はまだ少し緊張していました。もしかすると、お子さんやパパさんたちも同じ気持ちだったかもしれません。まだ気持ちがほぐれていなかった時間帯だったようにも思います。

講師として、FJKの「マジックパパ」こと和田さんに来ていただきました。初めに和田さんが絵本の読み聞かせを演返し、パパさんたちはお子さんの様子を見守りながら、読み聞かせを通じた子どもの気持ちの感じとり方を教そわっていただきました。パパさんたちはそのお話に真剣に耳を傾け、その膝の上ではお子さんたちもそんな空気を読んでか、同じように真剣な表情で和田さんの読み聞かせを聞

いていたのが何だかとても微笑ましかったです。

さらに皆さんの表情に変化が生まれてきたと感じたのが、次のマジックあそびの時のことです。マジックあそびでは、和田さんの実演とレクチャーの下、実際に新聞やシールを使って父子でマジックにチャレンジしたり、作品を完成させたりして楽しんでいました。先ほどの絵本の読み聞かせの時とは違って、体を動かしたり、じっくり考えたりしながら笑顔がとても増えてきました。個人的には、この辺りから「ここは楽しいところだ」と強く、広く認識されたように感じました。

次に、全体で輪になってぐるぐる回り、お題にそってポーズをとる「からだあそび」をしました。全員が体を動かしながら

**さらに皆さんの表情に変化が生まれてきたと感じたのが、マジックあそびの時のことでした。**







困ったり、  
迷ったりも  
するけれど、



にじみでる、



っぱい使って、



なで宝探し！

後半のプログラムは、子どもたちとお父さんたちが分かれて活動を展開します。子どもたちは、和田さんによる紙芝居の読み聞かせからスタート。何も言われずともみんな一列に並んで、紙芝居の前に座ってスタンバイOK！これには周りの大人たちも舌を巻いて驚きました。それからカプラで遊んで、ちぎった新聞紙を会場いっぱいに広げて遊んで、最後の宝探しはこの日一番の盛り上がりでした！パパさんたちは輪になって座り、子育て座談会。困ったり悩んだりしながらも、子育てを楽しむパパザカラがにじみでる交流となりました。



## 会場をめい



## 最後はみんな

ゲームを楽しむことで、場に対する不安や心配などは全くなくなり、笑顔と歓声があふれる空間となりました。

後半のプログラムです。パパさんたちと子どもたちとが分かれ、それぞれで違うことをしました。前半のプログラムはパパとお子さんが二人一組になって遊ぶものだったので、パパから離れるのが不安で泣いてしまったり、パパのところに戻ったりしてしまっているのではないかと少し心配になりました。しかし、僕たちが心配する必要も



あつという間の2時間、名残惜しいけど最後はハイタッチでお見送りです。次回は、ものづくり教室です！

## 前回参加してくれたたしよまぐんの ような子たちが、自然に初参加のお 子さんをリードしてくれていました。

ないぐらい、子どもたちは楽しく、ダイナミックに遊びにのめり込んでいました。前回参加してくれたたしよまぐんのような子が自然に初参加のお子さんをリードしてくれていたように僕の目には映りました。

実際に子どもたちの中に入り、一緒に遊んでみると、子どもたちのコミュニケーション能力の対応力の高さにすごく驚きました。初めは和田さんによる紙芝居から入ったのですが、パパから分かれてからの活動の切り替えがとても早く、何も指示のない状態で子どもたち全員が横一列に並んで座り、みんなで紙芝居を楽しんでいる様子には驚きを隠せませんでした。

また、カプラを使つての積み木遊びでは、ついさっきまで初対面だった僕たちに対してまで自分の作品を自慢げに見せてくれたり、膝の上に乗ってくれた

りといったように、体を使ったコミュニケーションで打ち解けてきてくれました。新聞宝探しでは、友だちと協力して新聞の下に隠れた宝物を探したり、交流会を終えて合流したパパさんたちにその楽しさを共有しようとしたり、自由にのびのびと楽しく遊んでいた姿がとても印象的でした。

最後の記念撮影では、父子とも楽しそうな笑顔だったのも強く印象に残りました。

今回のパパスクールでは、子どもたちの遊ぶ姿から子育てのヒントがたくさん得られたように思います。パパさんたちにとってもそうだと思いますし、自分が子育てをするようになってからも役立てていきたいです。ご家庭でも、パパとの遊びをこんな風に楽しんでいってもらえたら嬉しいですね。

## 中間報告会の振り返り

貴村 陽香

私たちは、天理大学の生涯教育基礎演習という授業の一環で、この天理若者世代男女共同就業促進事業に参加させていただいています。この基礎演習では、一学年十八名の学生が三つのグループに分かれて学外での活動の経験をいただいています。先日、久しぶりにこの基礎演習内で全ての学生が集まり、グループごとに4月から今までの活動の報告会を行いました。私からは、その報告会の様子をお届けします。

まず、一番初めに上田くんが私たち天理市子育て応援プロジェクトの概要と学生として参加する自分たちの役割や活動内容について、シンプルかつ的確に説明しました。事前準備のおかげもあり、適度な速さと声量で聞き手のみんなに分かりやすく説明してくれて、トップバッターに相応しくプレゼンの流れを

つくってくれました。

次に立ったのが、福井くんです。天理市役所、FJKの皆さんとの交流会や天理市役所の訪問研修の様子について発表してくれました。初めてお会いする天理市役所、FJKの皆さんが、緊張していた私たちにとても優しく接してくれて、笑顔あふれる和やかな雰囲気を作ってくださいだったこと、そのおかげで私たちも活動に参加しやすくなり、活動をご一緒させていただきながらすぐそばで様々なことが学べるという恵まれた環境にいることを伝えてくれました。

途中、話題をふくらませる質問が三鬼くんからも投げかけられ、それをきっかけに私たちのよりリアルな気持ちを引き出されて、聞き手のみんなに伝えられたと思います。

その後、私と三鬼くんからは、それぞれが参加させて頂いた回のパパスクルの活動について発表しました。三鬼くんは、杉山先生が撮ってくださいった写真や動画を駆使し、パパス



# SCENE 5

## 学生による中間報告会



## この2ヶ月間を振り返って

クールに参加して学んだこと感じたことを、身振り手振りを交えながら熱く語り、聞き手の気持ちを瞬時に判断し、みんなが理解しやすい表現で伝えてくれました。

最後に、杉山先生からの「これまでの活動を通して、生涯教育ってどんなものだと思う？」という大変難しい投げかけに対する4人それぞれのコメントです。一人ひとり、およそ二か月間の天理市子育て応援プロジェクトでの活動を振り返って、思いの丈を表現しました。

三鬼くんは「ななめの関係を大切にする教育」。上田くんは「あらゆるところに生まれる芽のようなもの」。福井くんは「粘土のように形を変える柔らかいもの」。そして、私は「トマト」がキーワード。

私たちは、参加したパパスツールでは回ごとに出るメンバーとお休みのメンバーがいましたが、それ以外の時間をほとんど一緒に活動してきました。それにもかかわらず、＜生涯教育＞

6月26日、生涯教育基礎演習の中間報告会が開催されました。天理市子育て応援プロジェクトに参加する4人の学生も、空き時間を活用して準備を重ね、この2ヶ月で学んだことを表現するプレゼンテーションに挑みました。それぞれが伝えたいことをしっかり考え抜いて盛り込み、互いの発表をサポートし合いながら堂々たるプレゼンテーションとなりました。持ち時間の1.5倍の長さになったことは反省しつつ、それだけ思いの丈をつめこんだ4人の合同発表。入学当時とは見違えるようなその姿をととても頼もしく感じました。



学校って、タテとかヨコの関係が  
中心だった気がするんですけど、  
生涯教育って、ナナメの関係が  
大事なんじゃないかと思いました。

に対する一人ひとりのイメージや感じ方が違いました。私たちは、実は三つのグループの中で一番人数が少ないです。しかし、四人という条件も生かして、報告会に向けて何をみんなに知ってもらいたいのか、知ってもらうためにどのような説明するか、先生の研究室で外が暗くなるまで、とことん自分たちなりに考えてみました。

実際のプレゼンは予定通りにはなかなかできなかつたけれど、それぞれの知恵と力を結集して準備をして、今ある経験を全て出し切って、子育て応援プロジェクトの魅力伝えることができましたように思います。私たちがこのような経験ができるのも、天理市健康推進課やFJKの皆さん、事業に参加してくださるパパさんやお子さんたちのおかげです。これからは、もっと広くプロジェクトの魅力を伝えられるよう、チャレンジしていきたいです。



貴村陽香さん

上田新平くん

引き続き、この四人のメンバーで  
天理市のパパデカラ日本一を応援します！



三鬼司くん

福井隆太くん

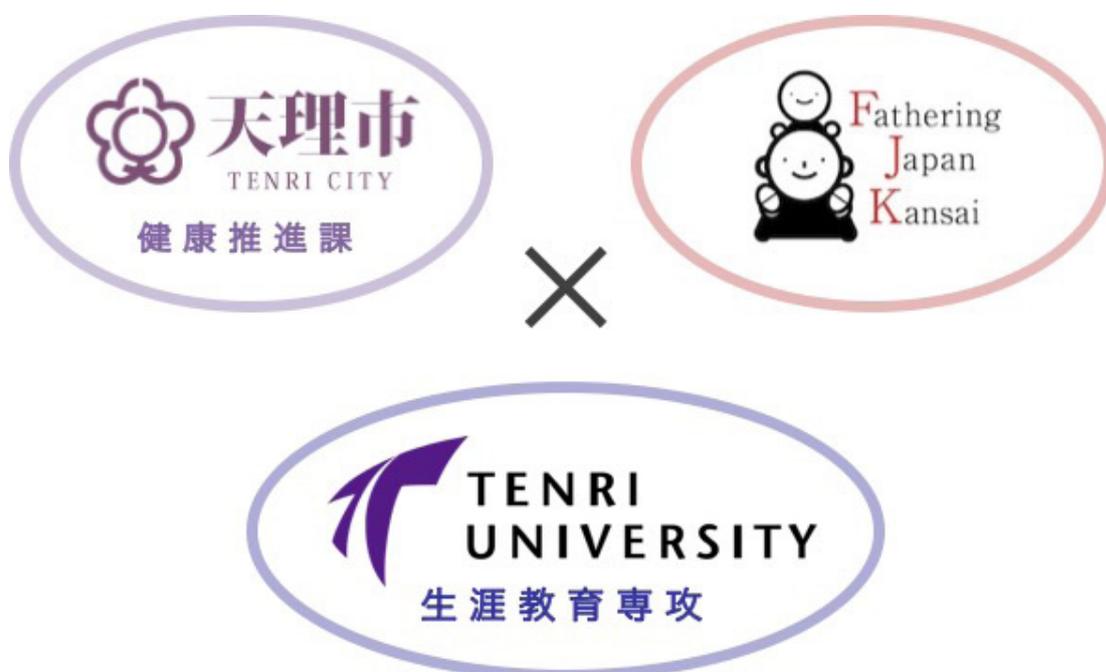
## 編集後記

おかげさまで、この通信の発行も第3号を数えることができました。

今号では、いつもお世話になつていゝるNPO法人ファザーリングジャパン・関西の理事長、篠田厚志様に心温まる巻頭言をご寄稿いただきました。篠田さんには、授業やプロジェクトのことですが、いままばかりお願いしてしまふのですが、いつも学生のために一肌ぬいでくださるその優しさに支えられっぱなしです。この場を借りて、あらためて感謝申し上げます。

さらに、貴村さんからは中間報告会の振り返りをレポートしてもらいました。当日は、私もカメラを片手に4人が報告する姿を見守っておりました。一人ひとりの言葉からは、この2ヶ月で得られた出会いや経験に裏打ちされたような力強い響きを感じました。発表時間を超過してはしまいましたが、最後に語った「自分にとっての生涯教育」は、彼らの等身大の表現として、私もすっかり胸に刻んでおきたいと思ひます。

それにしても貴村さんの「生涯教育はトマト」説、その意味するところは……。想像すると楽しいですね。わかつてきたような気もするけど、その真意を聞くのが楽しみです。



---

## TENDAI +Links No.3

生涯教育専攻 子育て応援プロジェクト通信

発行日 2019年7月19日  
編集・発行 天理大学 人間学部 人間関係学科 生涯教育専攻  
協力 天理市健康福祉部健康推進課  
NPO法人ファザーリングジャパン関西(FJK)  
連絡先 〒632-0032 奈良県天理市杣之内町1050  
shimpei@sta.tenri-u.ac.jp (担当: 杉山 晋平)

---